

関係各位

平成 30 年 3 月 13 日

日本スポーツ学会
オリンピック・パラリンピック休戦委員会

オリンピック・パラリンピック休戦アピール署名のその後について

日本スポーツ学会オリンピック・パラリンピック休戦委員会は、皆様から頂いた「オリンピック・パラリンピック休戦アピール」の署名リストを韓国オリンピック委員（KOC）に届けるべく、平昌冬季オリンピック大会の開幕直前に現地入りし、KOC委員との接触を試みました。

現地ではKOC関係者の協力のもと署名リストを提出できる見通しとなっていました。北朝鮮の代表選手の大会参加や各国首脳陣の訪韓等の事態も重なり、こちらへの対応の運びとはなりません。5日間の滞在期間中、署名受け渡しについて再三交渉を試みましたが、ついにKOC委員との面会はかなわず、無念の帰国となりました。なお、帰国後、KOC広報部長から「申し訳ありません。政治的な理由で受け取ることができません」との連絡をいただきました。

こうした経緯の後、署名受け渡しについて、呼びかけ人の1人でIOC名誉委員の猪谷千春氏にご相談したところ、平昌パラリンピック冬季大会の開催期間中に現地でIOCのバッハ会長に直接お手渡しいただく運びとなりました。

そして、2018年3月11日、同月3日までに集めた1,618人分の署名リストをバッハ会長にお受け取りいただきましたので、ここにご報告申し上げます。猪谷氏からは、「バッハ会長は日本にこの種の草の根運動のある事を知り、とても喜んでおりました」とのご連絡を頂戴しています。

本署名活動は、2020年の東京大会に向けて今後も継続して行っていく所存です。より多くの方にご賛同いただけるよう、今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上